

産業目線

【活動選定項目】	① カーボンニュートラル(CN)への対応	
<p>具体的取り組み項目</p>	<p>① インフラ整備 ② 公用車を電動車に変更 ③ ゼロカーボンシティ宣言市（豊橋市）としての内容の充実</p>	
<p>前回まで 活動状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現状調査：水素ステーション1軒（移動式）月・水・金 10：00～15：00 営業 EV スタンド公共 19 か所 ・豊橋市 569 台車両保有/23 台電動化済 ・豊橋市 令和3年11月6日ゼロカーボンシティ宣言をしました。 	
<p>今回 具体的活動</p>	<p>①インフラの整備 令和4年3月現在 新たな水素ステーションを豊橋市内に建設中</p> <p>②公用車を電動車に変更 会派：まちフォーラムで要望書を作成 令和3年10月29日 浅井市長に要望書を提出 具体的取組項目①②③の要望を盛り込みました。</p> <p>③ゼロカーボンシティ宣言市（豊橋市）としての取り組み内容充実 令和4年度予算特別委員会の中で及部が質疑に立ちました。 『次世代自動車購入補助金拡充』 EV（電気自動車） 40 台⇒100 台（上限6万円） PHV（プラグイン） 45 台⇒55 台（上限3万円） FCV（燃料電池車） 3 台⇒9 台（上限20万円）</p>	<p>【図や活動の様子が分かる写真など】</p>  <p>豊橋市内に建設中の水素ステーション 令和4年中にオープン予定</p>
<p>今後の活動</p>	<p>今後も豊橋市としては、ゼロカーボンシティ宣言都市として何ができるのか、を調査・研究して提言する事が重要と考えます。</p>	